



# 横浜こどもホスピス プロジェクト

会報誌  
ニュースレター

Vol. 15  
Jun 2025

この瞬間を笑顔に！みんなで支えて叶えたい

代表メッセージ

## 横浜市立六浦小学校との交流

認定 NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト 代表理事 田川 尚登



横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち（以下、うみそら）を知ってもらう一つの方法として、子どもたちにその存在を理解してもらう取り組みがあります。地元・金沢区の小学校4年生の総合学習の時間には、「地域の福祉を知ろう」という授業があり、2年前から子どもたちとの交流が始まりました。地域ケアプラザ\*1、助産院、子育て支援団体、町内会、こどもホスピスなどとの交流を通じて、4年生が地域社会とのつながりを学ぶ授業です。まず、全体会で各施設や団体の紹介があり、次に担当クラスでそれぞれの活動内容を詳しく学びます。その後、実際に見学し、生徒がどのように関わることができるかを考える機会が設けられます。

一昨年は、こどもホスピスを見学した生徒が、歩くことができない子どもたちのために「座ってできる遊び」を考案してくれました。内容は多岐にわたり、風船バレーボール、釣りゲーム、洗濯ばさみと割りばしを使った射的ゲームやクリスマスに関連

した絵本の読み聞かせなどが含まれていました。

また昨年は、ビー玉を転がしながら迷路を進むゲームやケーキの作り方を紹介した動画、うみそらを利用する家族への応援メッセージ、「人間っていいな」という曲をもとにした「うみそらっていいな」という替え歌などでした。すべて映像にまとめ、工夫を凝らした遊び方の説明も加えていました。どれも、うみそらを利用する子どもたちのことを真剣に考えて制作されたもので、心温まるものでした。うみそらの利用家族に使っていただくと、応援してくれる地域の子どもたちの存在に大喜びされています。

重い病気や障害がある子どもたちと直接触れ合う機会は少ないかもしれませんが、こうした活動を通じて、同じような年齢の子どもでもそれぞれに異なる状況があることを知り、思いやりや優しさを学ぶことができることを確信しています。今後も地域の子どもたちとのつながりを大切にしていきたいと考えています。

\*1 地域ケアプラザは、高齢者、子ども、障害のある人など誰もが地域で安心して暮らせるよう、身近な福祉・保健の拠点としてさまざまな取組を行っている、横浜市独自の施設です。

One way to raise awareness about the Ocean and Sky Yokohama Children's Hospice – (Umi to Sora no Ouchi, "Umisora") is through initiatives that help children understand its existence. For the past two years, we have been interacting with children from the local elementary schools in Kanazawa Ward, by participating in their integrated studies class called "Let's Learn About the Local Welfare". This class aims to teach fourth-graders about community engagement through exchanges with local organizations such as the Community Care Plaza\*, midwifery clinics, parenting support groups, neighborhood associations, and the children's hospice.

The program starts with each organization presenting its activities. Then, the students explore deeper into the specifics of each organization during their respective class sessions. They are also provided with opportunities to visit these facilities and discuss how they can engage in the activities.

In the first year, the students who visited the children's hospice created some games for children who are unable to walk. This included a variety of activities such as balloon volleyball, fishing games, shooting games using pistols made with chopsticks, and reading Christmas-themed picture books. In the second year, there were marble maze game, a video demonstrating how to bake cakes, messages of encouragement for families using Umisora, and a parody song entitled "Umisora te ii na" based on the song "Ningen te ii na." All of these were compiled into a video, accompanied with explanations on how to play.

Each of these projects was thoughtfully created with the children at the hospice in mind, resulting in heartwarming expressions of care. All the families here are delighted to know that local children are supporting them.

Although direct interactions with children who have serious illnesses or disabilities may be limited, I am confident that through such activities, the students can learn about the diverse situations of their peers and develop empathy and kindness. Moving forward, we aim to continue nurturing connections with local children.

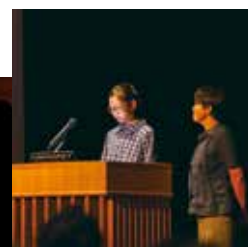
\* The Community Care Plaza is a unique facility in Yokohama City that serves as a local hub for welfare and health services.

# 『こどもホスピスフェスタ 2025』開催！

4月28日は「日本こどもホスピスの日」、そして5月5日までの一週間は「こどもホスピス・ウィーク」。

毎年、この時期にはさまざまな広報啓発活動が行われます。(詳細は次ページへ)

そのひとつである「こどもホスピスフェスタ」は、私たちの活動に関心を寄せてくださる方々に  
生の声を直接届けられる日として大切にしています。



今年のテーマは「子どもの『今』を大切にするために～私たち一人ひとりができること」。  
スペシャルゲストにお迎えした岡田元サッカー日本代表監督は、スポーツを通じて愛媛県  
今治市の「地域の力」を耕してこられました。「私たち一人ひとりにできること」が必ずある  
はずだ、と感じられる力強いご講演でした。

第二部では、こどもホスピスを利用している一組のご家族ときょうだい児である小学生が、  
こどもホスピスへの想い、社会への願いを、それぞれの立場から語ってくださいました。

病気の有無に関わらず、家族や友人と過ごすかけがえのない「今」をどれだけ有意義にで  
きるかは、医療者や家族だけでなく、地域社会をはじめさまざまな人のまなざしによってよ  
り豊かに育まれていくのだと改めて感じました。

こどもホスピスフェスタは7月31日まで、アーカイブでご視聴いただけます。

## "Children's Hospice Festa 2025"

April 28th is "Children's Hospice Day" in Japan, and the week leading up to May 5th is designated as "Children's Hospice Week." During this period, various awareness-raising activities are organised. (Please refer to the next page.) One of these activities is the "Children's Hospice Festa," where we report our activities directly to those interested in children's hospice.

This year's theme was: "Seize the Day — What Each of Us Can Do for the Children."

Our special guest, former Japan national football team coach Mr. Okada, has been cultivating the "power of the community" in Imabari City, Ehime Prefecture, through sports. His speech was inspiring them to believe that "each of us can do something."

In the second part of the event, one of the family and an elementary school student shared their thoughts on the children's hospice and their wishes for society from their respective perspectives as children's hospice users.

The time spent with family and friends is invaluable, regardless of their health condition. How meaningful that time can be is not only influenced by medical professionals and families but also enriched by the perspectives of various people, including the local community.

We hope to continue moving forward together with you.



アーカイブのお  
申込みは Peatix  
より (1,000 円)



日本記念日協会に「こどもホスピスの日」が2025年正式登録！

# こどもホスピスウィーク中に開催された 応援企画・啓発イベント



四つ葉のクローバーの4枚目の葉は『幸福』のシンボルとされています。

病とともにある子ども達が、たくさんの愛情に包まれ豊かに生きることを支える場である『こどもホスピス』のイメージと、四つ葉のクローバーのイメージが重なることから、2019年に4月28日を『こどもホスピスの日』と定め、今年、正式に日本記念日協会に登録されました。



## ■横浜市大コラボ企画

日頃より密に連携をさせていただいている横浜市立大学附属病院とのコラボレーションで、こどもホスピス啓発企画を開催。ドクターやナース、チャイルドライフスペシャリストさん、庶務や広報担当の方など、多職種の皆さまが関わってくださり、企画のための医療者インタビュー動画も公開されました。(4/21～4/25開催)



## ■こどわらフェス

横浜こどもホスピスプロジェクトの応援アンバサダー、大和田美帆さんが立ち上げた、『一般社団法人 子どもが笑えば世界が笑う』主催のチャリティイベントに共催として参加。田川代表のスピーチやうみそら利用者のお子さんによるパフォーマンスもあり、収益よりご寄付をお寄せいただきました。(5/5開催)



## ■港南台メディカルフェスティバル

医療職・福祉職・地域が企画する、健康・病気・いのちの大切さを楽しみながら知って学べる体験参加型イベント。インクルー

シブな遊び場体験と『こどもホスピスってなあに?』のミニレクチャーで参加。(5/18開催：協力/㈱アネビー)



## ■横浜市役所わくわくこどもデー

病気や障がいがあっても、遊びたい気持ちはみんな一緒。そんな想いを込め、来場の子もたちが教育資材『こどもホスピスってなあに?』を元にしたクイズやオリジナル缶バッジ作成に挑戦。(5/4～5/5開催)

## ■称名寺薪能

金澤薪能にて広報・物販ブースを展開、療養中のお子さんご家族にはオンライン配信で伝統芸能に触れる機会をいただきました。(4/29開催)

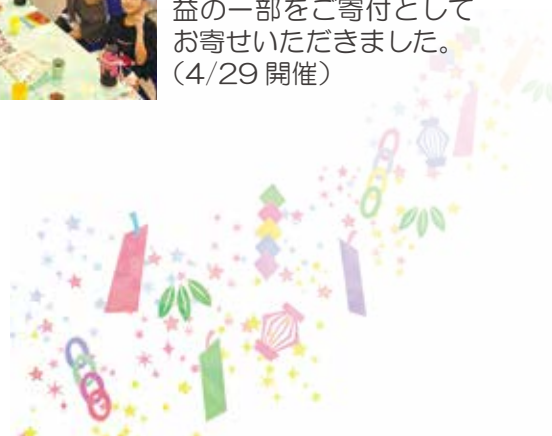


## ■親子料理教室

地域のお子さん向けイタリア料理教室に利用者さんもお招きいただき、収益の一部をご寄付としてお寄せいただきました。(4/29開催)

## ■株式会社不二家

神奈川県内の不二家レストラン全店で、うみそらTシャツを着たペコちゃんがお出迎えしてくれました♪(GW期間中)



## 利用者の声

2023年3月3日、当時4歳の息子、晴一（はるいち）が脳幹グリオーマと診断され、同時に余命1年もないかもしれないと告げられました。

それからは晴一と楽しい時間を過ごすことを最優先にしたいと思い、晴一が大好きな新幹線・温泉・プールなどを思う存分楽しむため、毎月旅行に行こうと決めました。

最後の2ヶ月は点滴が繋がっており、酸素を必要とする状態だったので、もうどこにも行けないと主治医に相談したところ、うみそらを紹介されました。

うみそらにはその時の体調に合わせてやりたいことを実現できるよう、一生懸命考えてくれるスタッフの方々がいます。

目に見えてどんどん病気が進行する晴一とできることを探すのが辛かった時、“病気が進行しているから仕方がない”と諦めなくていい、“うみそらならまだ楽しいことができるかもしれない”と思えることが希望であり、心の支えでした。

そんな場所だからこそ旅立つ一週間前、最後のお泊りもうみそらですることができました。本当に諦めなくて良かった。

そして、晴一が旅立った今も私たちはうみそらに支えられています。

「うみそらに行けば晴一を知ってくれている人がいる」「うみそらに行けば悲しい気持ちを受け止めてもらえる」そんな安心感を与えてくれる温かいスタッフの方々がいるのが、うみそらの素敵ところです。この温かい場所がいつまでも無くならないで欲しい。

ずっとずっと病気と向き合う子どもたちとその家族の笑顔が生まれる場所であって欲しいと思います。



### Instagram アンケート

## SNS で聞きました !!

ある夜、うみそらファミリーのご家族とSNSでも交流を持てれば…と、試験的にInstagramでアンケートを実施しました。

『うみそらで一番好きなところは？』の質問に寄せられた、ファミリーからの回答をご紹介します♪



スタッフの笑顔・スタッフの優しさ・スタッフの面白さ（7票）



建物全体の暖かい雰囲気・解放感（3票）



大きなお風呂「うみそらの湯」（1票）

みんなの愛が詰まっているところ（1票）



On 3 March 2023, my then four-year-old son Haruichi was diagnosed with brain stem glioma and we were told that he might not have more than a year to live.

From then on, Our main priority became having fun with Haruichi, so we decided to take a trip every month to enjoy his favorite things such as the bullet train, hot springs and swimming pools.

During the last two months, he was connected to an intravenous drip and needed oxygen. When I told the doctor that my son had nowhere left to go, he referred me to the Ocean and Sky Yokohama Children's Hospice.

Here, the staff went to great lengths to make sure Haruichi could do whatever he wanted, according to his condition at the time. As the condition visibly progressed, it became increasingly difficult to find things Haruichi could still enjoy. But we didn't have to give up just because the illness was progressing.

We could still look forward that, 'Maybe we can still do fun things here.'

That was hope and emotional support for me because I thought he could still have fun here.

That was the reason why we were able to have our last sleepover here a week before he left. We are really glad we didn't give up.

And now that Haruichi is gone, we are still supported by the Ocean and Sky Yokohama Children's Hospice.

The warmth of the staff here makes it a wonderful place to be.

We hope that this warm place will never disappear.

We hope that it will always be a place that brings smiles to the faces of children and families battling illnesses.



川の字で寝られる電動ベッド・ミストサウナ・  
オープンキッチン・ブランコ…

設備や内装などが上位を占めるかな…という予想に反して、スタッフを気に入って下さっているというお声の多さに、嬉しさとともに身が引き締まる思いがします。

居心地が  
とってもいい。

おうちの  
開放感と  
明るさ！

スタッフの  
皆さんの笑顔  
が大好き♡

空気が  
暖かい所

スタッフの  
皆さんが温かく  
迎えてくださる  
ところ。

## ボランティア紹介

高橋 敦夫さん・香さんご夫妻（イベント／おうち／裁縫）

ボランティアに参加して3年目。利用者のお子さんやご家族と一緒に過ごしたり、施設内のお掃除、整頓、お礼状の発送などスタッフの皆さんの補助的な作業に携わっています。

最初は利用者さんとうまくコミュニケーションをとれるのか心配でしたが、配慮すべきことがあればスタッフの方から事前に伺えますし、何よりご家族の笑顔が気持ちを柔らかくしてくれます。

なかでも、お子さんが私の手を引いて遊びに誘ってくれたり、そっと近づいて来てお話ししてもいい？と言ってくれた時はとても嬉しいです。

この春からは主人もボランティアに参加するようになり、うみそらチームの仲間として共有する話題を持てるようになりました。

温かい居場所ができて、帰りは「今日もありがとう」と感謝の気持ちでいっぱいになります。これからもライフワークとして、うみそらに関わっていけたら幸せだなと思います。



## 新スタッフ紹介

4月から、うみそらに新たな戦力が3名加わりました。これからどうぞよろしくお願いいたします。



保育士の飯島和世です。

すべての赤ちゃんがただひとつの尊い命を受けて生れてくる時に、誰も病気や障がいを選べません。お父さん、お母さん、兄弟も同じです。誰も悪くないのに、とても悲しかったり、とても苦しい。でも、誰もがみんな幸せになる権利を持っていて、たくさんの笑顔を見せてほしい。ご家族みんなが誰にも遠慮せずに、泣いて笑って、話をしながらホッとできる第2のおうち。そして、そんな場所がもっとあたりまえに存在してほしい。

これが、私の思い描いているこどもホスピスです。皆さんといっしょに、「今」を豊かに過ごす希望と安心の場となるよう、笑顔でがんばります！



こんにちは。佐藤ふみと申します。

大学病院で小児外科の看護師、海外青年協力隊でアフリカ・エイズ対策、子育て中は実験教室の開催、保育園の看護師などをしてきました。

これらの経験を経て「子どもの立場に立ちきることができる」「子どもの人権が守られた小児医療をめざす」職業である、子ども療養支援士になりました。

趣味は絵本を描くこと。魚や虫など生き物全般が好きで自然の中で過ごすのが好きで、のんびりした性格です。

こどもホスピスでは子ども達が主体的に、のびのびすごせるようお手伝いをしたいと思います。皆様とあたたかなひと時を過ごせることを楽しみにしております。



はじめまして。この4月から横浜こどもホスピスプロジェクトのメンバーになりました、塚越美和子です。前職は特別支援学校（肢体不自由・病弱）や中学校で教員をしていました。ボランティアでうみそらにかかわるようになって数年、ずっと素敵な場所だなと思っていたのでとてもわくわくしています。こんな素敵な場所がもっと全国に広がったらいいなという思いを胸に、ここで出会う子どもたちやご家族と今を大切に過ごしていきたいです。

埼玉県出身で、好きなことは美味しいものと神社めぐり、御朱印集めです。よろしくお願いいたします。

## うみそらグリーンカフェ

大切なお子さまを見送られた親御さまを対象に、同じ経験を持つ仲間（ピア）とともに、お空の子もたちのことを語り合える場です。

お子さまを見送った直後は、毎日がただ辛く、それでも何事もなかったかのように時間が過ぎていく。

いつまでこの状態が続くのか、先の見えない不安を、ひとりで抱えていませんか？解決策がないからこそ、一緒に悩み、支え合える仲間の存在が大切かもしれません。



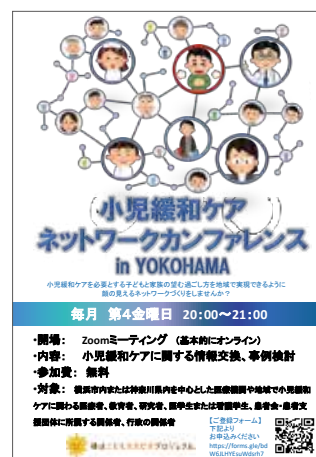
今年度は5回開催します。  
詳細はこちら

## 小児緩和ケアネットワーク カンファレンス in YOKOHAMA

小児緩和ケアを必要とする子どもと家族の望む過ごし方を地域で実現できるように、顔の見えるネットワークづくりをしています。

横浜市内または神奈川県内を中心とした医療機関や地域で小児緩和ケアに関わる医療者、教育者、研究者、医学生または看護学生、患者会・患者支援団体に所属する関係者、行政の関係者が、毎月第4金曜日の20時よりオンライン等でカンファレンスを行っています。

小児緩和ケアに関する情報交換、事例検討などを通し、よりよい小児緩和ケアとは何か、どんな連携が可能かなどを話し合います。



ご登録はこちらから



## うみそらファミリーデー

2024 年 3 月に実施した、利用者アンケート。

「個別利用の予約をしても体調によって直前キャンセルになったら申し訳ない」「他のご家族とも交流してみたい」といったご意見をもとに企画されたのがうみそらファミリーデーです。

ご予約なしで自由に立ち寄れる日を年間設定することで、気を遣い合わずにご家族にお越しいただきたいと思い、2024 年度は年 7 回開催しました。

### 企画スタッフインタビュー（1 年を振り返って／今年度の予定）

**伊藤** ファミリーデーは、ご登録いただいているすべてのご家族が参加対象です。状況によっては、様々な理由でご利用機会が少なくなっている方もいらっしゃると思います。何がしたいという具体的な希望がなくても、「久しぶりにうみそらに行きたい！」と思う子どもやご家族の気持ちを大切にしています。

**本多** 子どもたちやご家族が、いつもうみとそらのおうちのあり方を教えてください。ファミリーの特技や趣味を他のご家族へワークショップとして紹介してもらったり、オンラインでの交流やあそびを充実させたり、皆さんの声を聞きながら新しい試みも取り入れていきたいです。

**本多** 季節に合ったテーマがあった方がより気軽に参加できるかな？と考え、夏休みの宿題企画やお正月のカルタ大会なども取り入れながら、まずは 1 年間続けてきました。

**伊藤** この 1 年で、子ども・ご家族の交流が想像以上に広がっていると感じます。回数を重ねるごとに、当事者間の寄り添いの場にもなっています。年齢・病気の種類に関係なく、子どもたちがいと同じように遊ぶ姿は見ていて微笑ましいですし、先日は「小学校に入学したよ！」とピカピカのランドセルを見せに久しぶりに来てくれた子もいました。成長した姿に、スタッフ達も感激してしまいました。



#### ファミリーデー終了後の感想より

実家に帰ってきたような安心感の中で過ごせ、他の知り合いには話しにくい病気のことなど心をオープンに話せ、子どもも楽しく遊べる唯一の場所です。



活動報告はウェブサイトでもご覧いただけます

### イベントカレンダー

- |     |   |
|-----|---|
| 1 月 | ボランティア感謝デー（ボランティアさん達との年 1 回の交流会）<br>うみそらファミリーデー（お正月あそび） |
| 2 月 | うみそらファミリーデー（初めての雪あそび／協力：ウエインストヨタ神奈川㈱）                   |
| 3 月 | きょうだい交流イベント（金沢区の野島公園にてディキャンプをしました）                      |
| 4 月 | うみそらファミリーデー（のんびり過ごそう／協力：認定 NPO 法人あっちこっち）                |
| 5 月 | うみそらファミリーデー（実験教室／協力：クラシエ㈱）                              |
| 6 月 | うみそらファミリーデー（昔遊び体験）                                      |

# 2024 年度事業報告書（2024/4/1 ～ 2025/3/31）

## ①生命を脅かす病気の子どもと家族の療養生活支援施設の 整備運営事業 (支出額：33,310,369 円)

### 1. ホスピスケアの提供

内容：生命を脅かす病気の子どもと家族へのケア  
日程：令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月  
利用者：308 家族（延べ家族数）

### 2. 施設環境の維持管理

内容：施設環境の維持管理  
日程：令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月

### 3. 相談事業

内容：家族からの相談（ピアサポート）  
日程：令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月  
対象：小児慢性特定疾病の子どもを持つ家族  
利用者：84 家族（延べ家族数）

### 4. きょうだい児支援・相互交流会

内容：きょうだい児を含む家族の交流会  
日程：きょうだい児（9 月 22 日・3 月 20 日）／きょうだいキャンプ（7 月 28 日～31 日）相互交流（8 月 4 日）  
場所：金沢動物園、支笏湖、うみとそらのおうち  
参加者：きょうだい児支援（20 人）、支笏湖（3 人）、相互交流（6 家族）

### 5. グリーフケアプログラム

内容：子どもを亡くした家族の交流会  
日程：5 月 15 日／8 月 6 日／11 月 26 日／12 月 10 日／3 月 16 日  
参加者：56 人（延べ人数）

## ②小児緩和ケアに関する実態調査や啓発及び普及活動 (支出額：5,967,711 円)

### 1. シンポジウム（こどもホスピスフェスタ）

内容：講演  
日程：令和 6 年 4 月 28 日  
場所：はまぎんホールヴィアマーレ  
参加者：215 人

### 2. 周年記念イベント

内容：写真展  
日程：令和 6 年 11 月 23 日・24 日  
場所：うみとそらのおうち  
参加者：23 日（一般 113 人、利用者 46 人）、24 日（一般 118 人、利用者 21 人）

### 3. 広報活動戦略の強化

内容：広報ツール（ウェブサイト、冊子、動画）の作成と広報戦略策定

### 4. 企業等における普及啓発活動

内容：講演、公開講座、学会研究会などでの発表

対象：企業などの職員、学会研究会参加者、一般

## 5. 施設見学会

内容：施設見学会の実施  
日程：月 2 回  
参加者：739 人

## 6. 地域向けイベント

内容：地域住民に向けたイベント・交流会（夏祭り、クリスマス）など  
日時：秋まつり（9 月 7 日・8 日）、クリスマス（12 月 7 日・8 日）、その他年間を通じて  
従事者：職員 7 人、ボランティア 83 人  
参加者：秋まつり（一般 230 人、利用者 42 人）、クリスマス（一般 165 人、利用者 15 人）、その他外部イベントでの出展など（19 回）

## ③小児緩和ケアに関する人材の育成に関する事業 (支出額：3,203,681 円)

### 1. 小児緩和ケアネットワークカンファレンス

内容：生命を脅かす病気の子どもや家族が直面する課題解決のための勉強会  
日程：5 月 25 日 / 6 月 28 日 / 7 月 26 日 / 10 月 4 日 / 11 月 2 日 / 12 月 27 日 / 1 月 24 日 / 2 月 20 日 / 3 月 28 日  
人数：職員 7 人、運営委員会  
対象：医療・福祉・教育関係者、行政など  
参加者：171 人（述べ人数）

### 2. ワークショップ（教育資料およびプログラム開発）

内容：「こどもホスピスってなあに？」教育資料およびプログラム開発  
日程：ワークショップ（11 月 27 日）、資料配布 12 月  
参加者：ワークショップ参加者 12 人、資料配布は金沢区内小学校教員および児童 9510 人

### 3. 教育機関における人材育成事業

内容：教育機関における命の授業、人権教育の開催  
対象：生徒、教職員  
場所：11 校

### 4. ボランティア研修会

内容：うみとそらのおうちの運営・ケアに関わる研修の実施  
日程：お掃除研修（7 月 17 日）、AED 研修（8 月 14 日）  
参加者：お掃除（ボランティア 5 人、職員 4 人）、AED（ボランティア 4 人、職員 7 人）

### 5. こどもホスピス研修会・交流会

内容：こどもホスピスに関する研修会（勉強会、視察を含む）  
日程：2 月 24 日・25 日（岐阜）  
場所：医療法人かがやき

## ■ご利用状況（2024 年 4 月～ 2025 年 3 月）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
人数	81	80	94	100	110	98	92	156	119	80	93	73	1176
家族数	19	19	19	21	25	27	24	42	32	25	26	19	298
日数	14	16	18	12	16	12	13	15	14	12	10	11	163



2025 年度事業計画書

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 生命を脅かす病気の子どもと家族の療養生活支援施設の整備運営事業

ア ニーズに応じたホスピスケアの提供（個別、グループ、訪問など

内容：生命を脅かす病気の子どもと家族へのケア  
日程：令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月（グループケアは年 8 回）

イ 施設環境の維持管理・癒しの環境の提供

内容：施設環境の維持管理・癒しと地域とのつながりを感じる環境の提供  
日程：令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月

ウ 相談事業（神奈川県委託事業）

内容：ご利用者ならびに県域の長期療養児・家族のからの相談対応（ピアサポート）  
日程：令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月  
対象：小児慢性特定疾病の子どもを持つ家族

エ きょうだい児支援・相互交流会（神奈川県委託事業）

内容：きょうだい児を含む家族の交流会  
日程：きょうだい児（年 5 回）、相互交流（年 2 回）  
対象：小児慢性特定疾病のきょうだい児および家族

オ グリーフケアプログラム

内容：グリーフケアに関する講座と子どもを亡くした家族の交流会  
日程：年 6 回

カ 出張うみそら相談会

内容：横浜市立大学附属病院にて、こどもホスピスの説明と相談受付  
日程：年 2 回  
場所：横浜市立大学付属病院

② 小児緩和ケアに関する実態調査や啓発及び普及活動

ア シンポジウム（こどもホスピスフェスタ）

内容：講演、活動報告、家族の声などを通して、こどもホスピスと小児緩和ケアの周知・広報活動  
日程：令和 7 年 4 月 27 日  
場所：はまぎんホールヴィアマーレ

イ 周年記念イベント

内容：写真展

日程：令和 7 年 11 月 21 日～23 日

場所：うみとそらのうち

ウ 広報活動戦略の強化

内容：広報ツール（ウェブサイト、冊子、動画）の作成と広報戦略策定  
日程：令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月

エ 企業等における普及啓発活動

内容：講演、公開講座、学会研究会などでの発表  
日程：令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月

オ 地域向けイベント

内容：地域住民に向けたイベント・交流会  
日時：年 8 回

③ 小児緩和ケアに関する人材の育成に関する事業

ア こどもホスピス・小児緩和ケア人材育成プログラム

内容：小児緩和ケアを体系的に学ぶ機会の提供  
日程：年 1～2 回

イ 小児緩和ケアネットワークカンファレンス

内容：生命を脅かす病気の子どもや家族が直面する課題解決のための勉強会  
日程：月 1 回

ウ 教育資材およびプログラム開発

内容：未就学児および学齢期の子ども向け教育資材およびプログラム開発（ワークショップ）  
日程：令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月（ワークショップ年 2 回）  
対象：生徒、教職員

エ 教育機関における人材育成事業

内容：教育機関における命の授業、人権教育の開催等  
日程：令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月

オ ボランティア研修会

内容：うみとそらのうち運営・ケアに関わる研修の実施  
日程：年 3 回

カ こどもホスピス研修会・交流会

内容：こどもホスピスに関する研修会（勉強会、視察を含む）  
日程：年 3 回

活動計算書（特定非営利活動に係る事業会計）

2024 年 4 月 1 日 から 2025 年 3 月 31 日まで

科目		合計（円）
Ⅰ. 経常収益		
1. 受取会費	25,705,114	
2. 受取寄付金	234,828,647	
3. 受取助成金等	12,223,780	
4. 事業収益	1,464,620	
5. その他収益	1,062,488	
経常収益計		275,284,649
Ⅱ. 経常費用		
1. 事業費	42,481,761	
2. 管理費	37,806,373	
経常費用計		80,288,134

Ⅲ. 経常外収益		
	0	0
Ⅳ. 経常外費用		
税引前当期正味財産増減額	194,996,515	
法人税、住民税及び事業税	174,400	
当期正味財産増減額	194,822,115	
前期繰越正味財産額	696,349,665	
次期繰越正味財産額	891,171,780	

# ご寄付一覧（順不同・敬称略）（2024年11月～2025年5月末）

## ご支援、ありがとうございました

### 【寄付によるご支援者】

赤木 和子／赤松 靖／秋山 学／明星 圭介／明吉 研二／浅木 紗綾子／浅野 正／浅野 直／朝緑 和恵／安達 みな子／阿部 佳代／安部 肇子／天野 兼秀／網野 真／荒賀 智永／荒木 克昭／有井 たまみ／有賀 実男／安保 さよ子／飯岡 まゆ美／飯田 展久／飯村 春樹／伊香輪 成子／池谷 有紗／池田 仁子／池田 裕子／石井 文子／石川 碩／石川 なほ子／石澤 千絵／出水 美和子／磯 裕明／磯部 純美／磯辺 由佳／磯辺 美輪／磯目 奈美江／井田 幹夫／市原 早苗／一色 廣子／伊藤 甲之介／伊藤 智一／井上 早苗／井上 幸代／井上 徹哉／井上 玲子／井上 啓子／井上 秀枝／茨木 良枝／今井 希代子／岩井 香楠子／岩崎 隆文／岩崎 有佳里／岩澤 静枝／岩田 慶隆／岩田 英高／岩元 まゆみ／上沢 仁／浮須 恵美／臼井 まさみ／内田 ハル子／内村 慎史／内山 順子／梅崎 亜衣子／梅田 比奈子／浦川 富二子／潤井 眞理子／江成 道子／江原 マチ子／遠藤 綾子／遠藤 信行／大木 尚美／大久保 照子／大崎 逸朗／大嶋 博之／大西 範子／大野 乃里子／大野 克己／大森 久美子／小笠原 早苗／岡田 茂／岡田 靖夫／岡本 明子／岡山 幸弘／沖野 和正／奥村 美由／長 英太郎／尾田 政彦／小田島 弘昌／小野 佳子／小野田 貴代／小野寺 百合子／小原 麻美子／折笠 みはる／榎村 美和子／片倉 弥生／可知 祥子／加藤 郁雄／加藤 昭子／門田 由美／金谷 弥生／金谷 将隆／金子 直衛／金城 重盛／蒲谷 博久／神山 博史／亀井 洋子／川口 昌一／川倉 秀二／川嶋 茂良／川島 陽子／川田 千代子／川野 悦子／河野 幹子／神成 和彦／菊池 一行／菊地 真砂美／岸 清司／北地 達明／北村 憲雄／木下 嘉昭／木村 富子／木村 修一／木村 正子／木村 文子／木元 茂／草場 春美／クスダ レイコ／久住 まち子／國行 雅宏／久保 人司／久保田 正則／久保田 龍士／久保見 知子／熊澤 明日香／雲下 みどり／クルス ミチヤ／黒岩 志津／黒川 かおり／黒木 敬／黒澤 宗剛／クロダ／小泉 彩夏／小泉 優希／古賀 育子／コガ ケイコ／古賀 陽子／五賀 達雄／小口 由紀子／小久保 幸子／小瀬村 芳明／古平 秀子／小竹 裕之／小館 貴幸／小谷 理恵／後藤 泰子／小走 幸子／小林 幹紘／小松 良子／小松 真弓／小峰 道雄／小宮 敦子／小室 卓重／小山 祐一／今 弘幸／近藤 紀子／齋藤 信夫／齋藤 綾子／齋藤 貴子／齋藤 博美／齋藤 信子／坂本 良子／笹尾 都美枝／佐々木 朋子／佐々木 滯／佐藤 孜／佐藤 庄一朗／佐藤 乾太郎／佐藤 佐栄子／佐藤 暁子／佐藤 新嘉子／佐藤 慎次／佐和 祐梨子／澤岡 悠紀子／佐渡 三枝子／椎名 鉄男／塩川 明男／執行 セツ子／志澤 直樹／篠崎 暁子／柴 澄子／柴山 操／島 ひとみ／島崎 友樹／島貫 利津子／清水 順子／志村 朱美／白井 素子／菅井 倫太郎／菅野 孝志／菅野 快／杉山 喜光／鈴木 将彦／鈴木 織江／鈴木 良子／鈴木 英樹／鈴木 麻紀／鈴木 千鶴子／鈴木 幸子／鈴木 淳子／鈴木 道弘／鈴木 幸恵／鈴木 典子／鈴木 勲／諏訪 理絵／清野 摩耶／瀬尾 公子／関 悦雄／曾我 宗代／園田 誠一／園部 かおる／高尾 節子／高木 かよ子／高木 恭子／高橋 香／高橋 直子／高橋 孝子／高橋 ソノ／高橋 房子／高山 健／高山 ゆきの／田川 正志／武 秀美／竹内 文男／竹内 美弥子／竹内 英明／武内 恵子／武川 幸子／竹沢 佐知子／竹下 淳也／竹野内 猛／武山 富久／田嶋 和則／但木 美穂／田丁 洋基／立田 初代／立石 由美／田中 文枝／田中 ふみ子／田中 政隆／田中 治美／田和 榮／月足 新・和美／辻 政代／堤 勇一朗／綱島 健之／円谷 幸輝／坪根 明子／津呂 正代／鄭 雄一／寺岡 淳子／寺村 昌子／東條 富美子／徳長 裕子／富田 保子／長崎 智子／中嶋 雄一／長嶋 健志／長島 友理子／長嶋 孝／中條 初美／永瀬 富士子／永田 若菜／永田 花音／長沼 洋一／永平 潤／中村 ミチコ／中村 澄子／中山 英男／中山 映子／中山 千草／南雲 友紀／名倉 美津子／七元 はるみ／成宮 克侑／新沼 學／新堀 晃／西 玲子／西田 哲哉／西本 美貴子／仁平 克枝／野口 由美子／野村 ゆみえ／波木 井貴子／橋本 満子／柱本 早苗／長谷川 さおり／長谷川 文江／幡多 緑／畑 智恵子／服部 陽児／花里 典広／濱崎 源起／林 健児／林 圭二／林 純子／原田 恵美子／原田 晴美／樋口 喜美子／脇岡 あさ子／菱沼 良夫／菱沼 久美子／人見 敦子／平井 武子／平出 稔／平田 隆子／平田 ゆかり／平野 辰子／平野 和之／平野 俊明／廣田 由紀子／フクシマ ヨシノブ／藤田 寿枝／藤武 聡／藤波 満彦／藤原 成子／舟橋 昭代／府野 静子／ブロンシュタイン 玲子／星 江里子／細谷 智香子／堀内 恭／堀口 智昭／前川 真由美／前田 美佐子／前田 美和子／前田 惣一／前田 裕正／牧瀬 稔／間瀬 裕子／松尾 宏之／松尾 正彦／松木 由紀子／松崎 雅美／松田 直子／松田 正治／松田 正／松永 武久／松野 健一郎／松宮 修／松村 美千代／松村 正満／松本 英夫／三井 隆／三浦 八十治／右松 晶子／水石 尚美／水上 春男／水口 幸治／道信 祐三子／満岡 利夫／皆川 節子／宮前 朝子／宮本 弘子／武倉 澄江／村井 一夫／村岡 由美子／村上 敏幸／村上 美和／持田 加容子／望月 恵智子／森 光太郎／森田 明子／諸田 幸恵／柳沼 典子／矢島 美代／八代 徹／安木 由美子／八住 智明／柳田 芳江／矢野 大介／山縣 久美子／山口 智美／山崎 信子／山地理枝子／山下 幸穂／山下 潔／山田 玲／山田 一／山中 清／山中 宗／山野 郁子／山本 京子／山本 弘子／山本 栄一郎／山本 昭彦／山元 いづみ／山森 紀子／八幡 多美／横川 早紀子／吉川 満雄／吉田 賢一／聡／吉田 秀一郎／吉田 有人／吉村 雄希／義本 真帆／米沢 幸代／米山 勝子／若狹 静枝／若宮 貴男／渡瀬 美登里／渡邊 陽子／渡邊 健夫／Amazon／いきいきクリニック／（一社）F・マリノススポーツクラブ／（一社）子どもが笑えば世界が笑う／（医）横浜未来ヘルスケアシステム／エーザイ（株）／大塚平安学園ドレーパー記念幼稚園／オリーブ・フードファクトリー／Cai（株）／神奈川学校保健研究会／（株）あいみ／（株）イーエックス／（株）イデュース／（株）今井製作所／（株）In place／（株）えがお／（株）estrela／（株）エフブレイン／（株）CRESTIPS／（株）K・I／（株）三成ほていやビル／（株）シービック／（株）杉浦商事／（株）鈴徳／（株）ストラテジックキャピタル／（株）Total Life Design／（株）ネットフォレスト／（株）バートポケット／（株）フィネス／（株）みつやま／（株）リベルタス／J.S.Foundation／カプリス／関東学院大浦こども園／きょうだい児レモネードスタンド Pilina／グラスイン会員の皆さま／（公社）生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 神奈川県協会／（同）PRISM／小峰幼稚園／相模翠ヶ丘幼稚園父母の会／桜ヶ丘学園桜ヶ丘幼稚園／Sasebo Chapter, NSDAR／志のぶ幼稚園／頌栄女子学院／常願寺／全国共済神奈川県生活協同組合／捜真女学校同窓会・PTA／（公財）ソロプチミスト日本財団／S O M P O ちきゅう倶楽部／（特非）WE21 ジャパン海老名／（特非）WE21 ジャパンかなざわ／田浦教会婦人会／DALE DALE コクサイ／日本キリスト教団溝ノ口協会／日本バプテسم同盟関東学院教会／能見台地区民生委員・児童委員協議会／藤沢アクティライオンズクラブ／ブライト看護（株）／BLOOMBERG／Marshall Wace Asia／MAST GOLF／松戸市立総合医療センター小児病棟／マニユライフ生命保険（株）／三菱UFJ信託銀行 上大岡支店／モルガン・スタンレー MUFG 証券（株）／（有）玉置建装／横須賀青果物（株）／ヨコソウマシニカル（株）／横浜ゾンタクラブ／横浜戸塚ロータリークラブ／横浜友の会／横浜友の会・金沢方面／横浜ポートヒルライオンズクラブ／横浜みなと一馬車道ライオンズクラブ／横浜南キリスト教会／横浜ロータリークラブ／代々木・西荻窪・秋葉原・横浜スパーズ／リバティーワールド／レスパイト・ケアサービス萌

### 【こどもホスピスフェスタ 2025 協賛企業】

（医）横浜未来ヘルスケアシステム／ウエインズトヨタ神奈川（株）／（宗）弘明寺／（株）安藤建設／（株）柴橋商会／（株）鈴徳／（株）ダッドウェイ／（株）不二家／（株）メモワール／（株）横浜アストレア／（株）横浜銀行／大洋建設（株）／ベーカーハウス アオキ／明治ホールディングス（株）／明治安田生命保険相互会社／ヨコソウマシニカル（株）

### 【会費によるご支援者】（個人 227 名・法人 47 社）

青木 正仁／青木 麗子／青木 千絵／青木 千鶴子／秋山 康介／浅沼 岳／荒井 優太／荒川 滝雄／荒木 克昭／栗倉 久達／庵尾 拓矢／飯沼 健治／飯山 さちえ／池川 明／池尻 和明／池田 有子／石塚 順子／市川 利子／伊藤 美知子／伊藤 理人／稲子 希代子／今泉 美樹／岩本 ひろみ／上田 英子／上村 靖子／内山 洋子／宇都宮 里夏／榎本 愛子／大澤 絵美子／大西 一雄／大野 紗希／大野 明音／大軒 恵美子／大淵 真／大箭 哲史／小笠原 修司／岡本 正人／奥 恵美／鬼崎 正則／柏崎 誠／加瀬 友彦／片野 待子／加藤 晶子／加藤 友貴／亀井 ゆかり／萱畑 佳代子／河並 理美／川股 美都里／河村 美歩／川村 良行／岸本 貴子／岸本 大河／北岡 弘／北野 企利子／木根 潤 明／木村 裕之／木村 昌樹／吉良 理絵／久我 ゆきの／國澤 佳奈子／國本 明／窪田 里奈／久保田 充明／



熊澤 美香／黒田 勝治／桑原 晴湖／小出 浩子／河野 順／後藤 友香／後藤 裕明／後藤 紀代子／小宮 健一／小宮山 郁太郎／古明地 和子／斎藤 なほみ／坂本 良子／佐久間 翔／佐々木 由美／佐藤 崇／佐野 光央／島田 武彦／下平 陽介／下野 裕子／白鳥 公彦／菅井 倫太郎／菅原 陽／杉山 真紀／鈴木 雄太／鈴木 明子／鈴木 仁美／関野 耕治／高市 方子／高橋 富美子／武井 知恵／田代 一馬／立石 実／田中 佳子／田中 恵美／田中 政隆／谷 征夫／田村 慶成／津嶋 功／円谷 久美子／寺前 明／冨岡 拓郎／豊田 秀雄／永岡 かほる／中沢 麻記子／長澤 桃生／永田 亮／中村 真一郎／中山 英男／中山 仁志／西川 直子／西口 真那／西村 未央／能登 ヒサエ／服部 恭範／林 雄二郎／原田 悠平／原田 梢／深野 慶太／福島 敬子／福田 盟子／藤井 智恵子／藤田 寛之／藤森 めぐみ／前川 明文／松阪 一紀／松島 紀代美／松野 健一郎／松本 直樹／松本 久美子／三浦 桃奈／三澤 綾乃／光常 正次／宮原 愛子／椛樺 弘子／村上 美和／メンドーザ 友紀／望月 静也／望月 恵智子／森 まゆみ／森田 知子／森本 友／守屋 茂樹／谷津田 全子／柳谷 俊輔／柳屋 奈津子／山口 次朗／山口 みどり／山崎 裕輔／山本 万喜／横田 奈央子／吉田 敬子／吉野 正弘／吉見 旨訓／米通 冨／渡邊 拓也／渡辺 由美／渡邊 佳奈子／（一社）MHC リサーチ＆コンサルティング／（一社）横浜市薬剤師会インカムジャパン株式会社／（医）やまびこ会／（医）横浜未来ヘルスケアシステム／インカムジャパン（株）／SGS ジャパン（株）／金沢八景共栄会／（株）アプリシエーター／（株）ありあけ／（株）In place／（株）K・I／（株）三友ファスニング／（株）JCVN サポート／（株）JVC ケンウッド／（株）柴橋商会／（株）スマイルワン／（株）第一保険センター／（株）ツクイ／（株）ニックス／（株）バリューハウス／（株）不二家／（株）丸産技研／（株）ミールイノベーション／（株）横浜銀行／鎌倉プロバスクラブ社会奉仕委員会／工藤建設（株）／（宗）薬王寺／新興電設工業（株）／大洋建設（株）／田代鋼材（株）／（特非）NADIA／とりがおか歯科／日本発条（株）／根本建設（株）／フライスター（株）／ブライト看護（株）／プライムコーポレーション（株）／マハロ（株）／メガケアサービス関東（株）／横浜ビル建材（株）／リョーコーホーム（株）／涌井大輔税理士事務所

## 【マンスリーサポーター】（個人628名・法人13社）

相澤 みれい／相澤 堅／相澤 節子／相原 叔子／青木 昌宏／青木 稔／赤木 勝正／秋元 潤子／秋山 映一／秋山 美千／秋山 有宣／浅井 ひろみ／浅川 均／安達 かほる／足立 悦子／阿部 佐智子／阿部 智香／雨宮 二洋／飯山 泰子／五十嵐 かおり／池田 徹／石井 美知江／石井 睦子／石川 琢／石川 令子／石川 和男／石塚 賢二／石原 直子／石渡 善子／磯ヶ谷 勢都子／一宮 京子／伊東 延枝／伊東 昂郎／伊藤 文／井上 晋一／井原 恒太／今西 紀世子／岩井 裕太郎／岩上 由美／岩寄 太一／岩崎 敬子／岩本 景子／上野 和加／牛田 毬子／宇田川 貴弘／内田 幸春／内山 博嗣／蝦名 留美子／大岡 昌江／大河原 あずさ／大久保 昌徳／大澤 真太郎／大隅 朋生／太田 充彰／太田 峻平／大竹 恵子／大塚 豊／大野 恵／大橋 陽一／大好 誠／尾崎 風花／小野 愛里／小野 武史／小畑 章／開田 脩平／垣野 真吾／角田 一成／影山 奈津代／笠原 正美／鹿嶋 美由紀／勝田 圭代／加藤 紗和／加藤 潤／金井 志保／金成 祐行／金子 郁美／金子 久美子／神岡 孝明／河岸 芳人／川口 ひろ子／河住 孝子／河野 正／川又 幸恵／河村 陵治／川本 和弘／菊地 玲奈／菊池 安洋／菊池 由利子／貴島 庸子／岸宗 芳子／木村 裕之／楠 貴弘／九田 智子／工藤 美子／國井 安希／国岡 晃平／久保田 秀行／久保山 茂樹／熊谷 克哉／倉崎 直哉／栗芝 栄子／栗原 えみこ／黒川 照大／黒川 正美／黒澤 千晴／郡司 洋平／小池 幸憲／河野 みづゑ／河野 由香里／河野 雄飛／古賀 菜美子／小久保 誠／國保 和代／小菅 純代／後藤 愛子／小林 寛／小林 幹夫／小林 恵／小林 秀作／小林 秀多／小林 彰宏／小松 愛香／小松 史歩／小峰 みち子／古屋敷 純／近藤 直生／斎藤 孝子／斎藤 孝毅／斎藤 しおり／斎藤 圭／斎藤 康之／斎藤 真治／酒井 照幸／榊原 久里／坂本 遼／坂寄 忠之／櫻井 紗弥子／桜田 清美／笹川 泰弘／佐々木 仁志／佐竹 優平／佐藤 英美／佐藤 雅樹／佐藤 春美／佐藤 朝美／佐藤 博子／佐藤 睦子／佐藤 優／佐野 みどり／佐山 俊夫／澤井 泰孝／志賀 友紀／地下 翔平／重永 京子／志小田 舞子／柴田 郁恵／澁澤 治美／島田 浩和／島田 和彌／嶋田 杏里／清水 泰生／清水 奈々／下川 美和子／庄司 容子／鄭 仁熙／白井 千代／新堰 雅文／新道 智子／末広 真徳／菅 優一郎／菅井 秀子／菅井 倫太郎／菅原 正彦／鋤先 慶憲／杉戸 利之／鈴岡 藍子／鈴木 ルミ／鈴木 英太／鈴木 沙季／鈴木 勝／鈴木 昌彦／鈴木 聡／鈴木 直美／鈴木 芳之／鈴木 茂夫／鈴木 友紀／鈴木 祐介／関 哲／関口 明香／副島 由佳／高木 夏菜子／高木 綾子／高瀬 桃子／高橋 栄哉／高橋 春菜／高松 美穂／高山 美紀／武井 久美／武居 依子／竹谷 広隆／竹中 眞二／田子 薫／多田 真理／田中 恵津代／田中 溪湖／田中 勝／田中 真能／田中 美沙／田野中 朋子／玉澤 理香／田村 良太／千田 和馬／千葉 正毅／千葉 美智彦／塚田 教子／津川 瑠那／辻 予／堤 直子／鶴岡 瑠一郎／道正 伸久／銅直 素子／富永 樹生／戸矢 直幸／豊川 佳代子／豊田 秀雄／鳥海 友理子／鳥澤 竹彦／中尾 あや／中川 大輔／中沢 清明／長島 朝子／長瀬 巨宏／中田 大輔／中村 智美／中村 肇／中山 香／縄田 修一／西尾 真奈美／西川 奈奈／西川 和宏／西澤 由紀子／西嶋 菜美子／貫井 孝雄／沼沢 静江／沼田 和恵／萩田 光博／橋口 二美／橋本 明成／蓮見 俊夫／長谷川 賢／長谷川 妙美／濱田 あい子／林 晃正／原 千夏／原 雄一郎／平田 良子／平塚 明美／平野 将大／平野 尚美／平山 賢／福田 寛／福田 晃徳／福田 勝樹／藤井 紘司／藤井 望／藤田 大智／藤田 龍也／藤本 奈美恵／藤森 千尋／藤谷 千賀子／藤原 里沙／古里 弘幸／古田 綾恵／古田 真弘／堀田 佳耶／堀江 博行／本田 哲裕／本間 京子／本間 欽吾／前之濱 真紀／松井 早苗／松尾 美希／松岡 莉帆／松下 萌華／松田 明子／松葉 めぐみ／松村 由樹子／松本 裕史／松本 眞純／McDonald Gregory J／丸山 英輝／水田 英朗／水野谷 珠世／三田 恵美子／宮里 啓／宮下一紗／向井 百合子／村山 勢津子／毛利 亜子／茂原 治／森 海優／森 彰子／森川 結子／森田 ひかる／森田 太浩／森田 裕子／森元 由美子／森谷 綱太／森脇 幸恵／八鍬 宏昭／矢澤 健太郎／安田 文直／柳原 久美／矢野 郁美／矢部 弘人／山内 静香／山内 裕輔／山崎 一樹／山崎 香織／山下 顕／山田 洋之／山ノ内 美樹／山本 せつみ／山本 幸平／山本 水香／湯川 伸次郎／横山 孝子／吉岡 真紀子／吉岡 亮輔／吉田 大祐／吉成 孝元／米内山 茜／米田 ゆい／米本 真貴子／ワイエト 有優／我妻 慶祐／和栗 純子／鷺塚 里栄子／和田 真由美／渡邊 輝子／渡邊 晋士／アミエル税理士法人／（株）KSC／（株）roger&olivia／（株）ヴォイスオブジャパン／（株）ジュリエッタ・ガーデン／（株）ソシオコーポレーション／（株）トライドマネジメント／（株）ヨコハマ機工／（株）ライズ・コーポレーションズ／（株）一通／公文式鎌倉駅西口教室／にじのわクリニック

## 【募金によるご支援者】

境木地蔵尊／パンドイル／Bravissimo 美容室ブラヴィッシモ／美容室フリーサイズ／ペーカリーハウス アオキ／もりのお茶の間

## 【物品寄贈】

荏原花園／（株）オルフィックデザイン／（株）JCVN サポート／（株）巴裡 小川軒／（株）不二家／（株）キャラ研／（株）ダッドウェイ／（株）横濱おもてなし家／J.S.Foundation／全国共済神奈川県生活協同組合／フラワーショップ花定／みんなのレモネードの会／明治ホールディングス（株）／明治安田生命保険（相）／モルガン・スタンレー MUFG 証券（株）／（有）アオキ・グリーン／（株）日本製鋼所 労働組合横浜支部／田中 健一郎／寺村 昌子／菱沼 良夫・久美子／菅井倫太郎

## 【Amazon ウィッシュリストによる寄贈】

たくさんの方からお子さんが遊ぶ遊具や日用品などの寄贈をいただいています。皆様のあたたかなお気持ちに心より感謝申し上げます。ご購入いただく際に差し支えなければ、メッセージ欄にご支援下さる方のお名前・ご住所をご記入いただけますと幸いです。



Amazon ウィッシュリストでご寄贈いただいたもの（一例）

## うみとそらのおうちで開催される 今後のイベント

### ●秋のうみそら祭り（地域の皆さん向け）

ご寄付や会費などで活動を支援して下さる企業の皆さまとのコラボイベントです。

日時：2025年9月7日（日）

※時間など詳細はウェブサイトで順次お知らせします。

### ●うみそら写真展

うみとそらのおうちは11月21日に開所4年を迎えます。

日時：2025年11月22日（土）／23日（日）

※一般開放日の予定、詳細は追ってウェブサイトなどで順次お知らせします。

## 編集後記

横浜こどもホスピスプロジェクトのニューズレター創刊は、2018年7月。

それから6年、社会の情勢が大きく揺れ動くなかでも、「うみとそらのおうち」は多くの方のご支援に支えられて完成し、日々こどもたちとご家族を迎え入れることができています。

生成AIやデジタル技術が話題を集める、そんな時代だからこそ私たちは、このニューズレターを通じて、顔の見える活動や、現場の想いを丁寧に伝えていきたいと思っています。

「ウェブやSNSとどう差別化する？」「読者の方に本当に届けたい情報とは？」

迷い悩みながらも、「次号が待ち遠しい」と思っていただけよう、これからも歩みを続けます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

（事務局：梶原）

## ご支援について

### 【寄付で支援する】

いつでも自由な金額でご寄付をいただいております。

### 【毎月の寄付（マンスリーサポーター）】 ※クレジットカード決済のみ

毎月定額のご寄付で継続的に支援する方法です。決済方法はクレジットカードのみです。毎月自動引き落としです。

### 【毎年の寄付（賛助会員年会費）】

会員として活動を継続的に見守り支えてくださる方を募集しています。

①個人：年会費 1口5,000円から

②法人・団体：年会費 1口10,000円から各種プランがございます。お気軽にお問い合わせください。

毎月定額のご寄付で継続的に支援する方法です。決済方法はクレジットカードのみです。毎月自動引き落としです。

### 【遺贈による寄付】

生涯で築かれた大切な財産をお預かりし役立てさせていただきます。当法人に遺贈いただいた財産は相続税の課税対象になりません。お気軽にお問い合わせください。

【振込先】※ご住所を必ず明記してください。追って領収書を送付させていただきます。

#### ◎横浜銀行

支店名 本店営業部 普通預金口座番号 6173770

口座名義 特定非営利活動法人横浜こどもホスピスプロジェクト

#### ◎ゆうちょ銀行

振替口座 00260-9-104518

口座名義 NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト

#### ◎ゆうちょ銀行以外の他の金融機関からの振込の場合

ゆうちょ銀行 店名029（ゼロニキュウ）、預金種目：当座、口座番号：0104518

口座名義：NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト



寄付はこちら

※ 寄付金、マンスリーサポーター、賛助会員年会費は税額控除が受けられます。

※ 英語版寄付フォームもあります。

○ HP <https://childrenshospice.yokohama/>

○ Facebook・Instagram でも最新情報をお届けしています！



会報発行者：認定 NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト

〒236-0037 神奈川県横浜市中区六浦東1-49-5

TEL & FAX：045-353-3153 e-mail: [contact@ykh.jp](mailto:contact@ykh.jp) / 編集制作：（株）ユック舎